

平成 27 年度 国立大学法人大阪教育大学 年度計画

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置

- 1 基礎学力に加えて、興味・関心・意欲・社会経験など多様な観点に立ち、『入学者の受入方針』に適した入学者の選抜を行うため、入試方法の効果を検証し、入試方法などを見直す。
- 2-1 学生が身につけるべき学習成果や到達目標を明示する。
- 2-3 研究成果を反映させた取組がより効果的に実施されるよう、FD事業を実施し教員の理解促進を図る。
- 2-7 GPA制度の周知や、円滑な運用に向けた調整を行い、評価基準の明確化及び厳格な成績評価を行う。
- 4-2 大学院で多様な現職教員の教育や研修を行う。

(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置

- 1 部局のFD委員会等と連携し、FD活動を効果的に実施する。
- 2 受講生数の適正化、時間割の見直しなどを行う。
- 3 教員養成開発連携センターにおかれたIR部門、研修・交流支援部門、先導的実践プログラム部門及び特別プロジェクトの事業を継続的に展開し、具体的な教学改善に向けて着手する。
- 4 京都教育大学及び奈良教育大学との連携による京阪奈三教育大学双方向遠隔授業を実施するほか、同システムを連携ツールとして活用するとともに、その実施状況を点検する。
また、京阪奈三教育大学連携推進協議会のもとに共同設置した教員養成高度化連携拠点における各種事業を展開・拡充する。

(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- 1-1 センター等と連携し、指導教員制度を強化する。
- 1-4 学生の自主的、主体的な企画による活動を促進する。
- 1-5 京都教育大学及び奈良教育大学との連携により、学生主体の合同セミナー等や教員就職に係る連携協力事業を引き続き実施する。
- 1-6 課外活動の充実・活性化に必要な措置を行う。
- 2-2 経済的に困窮している学生に対する経済的支援策を充実させる。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置

- 1-1 教員養成教育の基盤となる本学固有の重点研究課題に取り組む。
- 1-2 学校リスクマネジメントに関する研究を推進する。
- 1-3 リポジトリの認知度をより高める広報を行い、登録コンテンツ数の増加を図り、システム活用を促進する。

3 その他の目標を達成するための措置

(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置

- 1-1 教育委員会等との連携のもと、教育現場のニーズに応じた、教員養成や現職教員の指導力向上を図る。そのための新たな事業として、天王寺キャンパス西館の実験機器の貸出を行い、併せて西館3階実験室の有効利用を促進する。
- 2 一般市民向けセミナー等及び各種団体との連携活動等を企画・実施する。

(2) 国際化に関する目標を達成するための措置

- 4 地域の日本語・識字教育や国際理解教育の支援事業を実施する。

(3) 附属学校に関する目標を達成するための措置

- 1-1 安全教育・学校リスクマネジメントについての取組を行うとともに、校舎等の耐震・老朽度調査等をもとに、建物改修計画等の立案および実施を進める。
附属池田小・中学校がセーフティプロモーションスクール認証校として、学校安全に係る我が国の先駆的取組を行う。
- 2-1 附属学校園と大学、協力市教育委員会と大学との協議会を継続的に実施し、体系的で効果的な教育実習を進める。
- 2-2 各地区に設定した研究テーマに基づき、共同研究を継続する。
- 3-2 配置された指導教諭のもと、研究推進と教育環境の充実、教員の教育力の向上を図る。
- 3-3 自律的で効率的な学校運営を行うため、学校評議員からの意見・要望や学校評価を学校の改善に活かす。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- 1-1 教員採用数の動向、地域の教育ニーズ、社会的要請等を総合的に勘案し、入学生数の適正規模、組織等の見直しについて検討する。
- 1-2 昨年度整備した年俸制大学教員制度について、年俸制導入等に関する計画に基づき、地域密接に加え、広域の拠点となる特定機能を併せ持つ大学として、

機能強化を加速する観点から、国内外の優秀な人材の任用を進める。

- 3-1 法人の業務運営における監事の意見を学長のリーダーシップに反映させるとともに、経営協議会で示された意見に適切に対応し、その状況をウェブページで公表する。
- 3-3 職員の専門性を高めるとともに高度な専門的知識・技能を有する外部人材を任用する。また、女性等の能力の一層の活用など、多様な人材の大学教員の任用に努める。
- 3-4 第3期中期目標期間に向け、学長のリーダーシップによる新たな予算配分方法を策定する。
- 4 組織的な監査体制を充実し、大学経営の活性化を図る。
- 5 SD研修を実施し、職員の視野を広げるとともに、業務の専門性やスキルを習得する機会を与える。

2 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

- 1 京都教育大学及び奈良教育大学との連携により、引き続き管理経費の削減や合同事務研修を実施するとともに、事務共同化の推進を図る。

III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- 1-2 大型の競争的資金や外部資金などの獲得につながる育成制度を継続して実施し、その予算枠を確保する。

2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

(2) 人件費以外の経費の削減に関する目標を達成するための措置

- 1 競争性、透明性を確保した適正な契約手続き制度の整備を推進する。

3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置

- 1 構築された収入獲得の仕組みにより、計画的な貸付を行う。

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 評価の充実に関する目標を達成するための措置

- 1-1 教育・研究・社会的活動・業務運営に関する点検・評価を効果的かつ計画的に実施する。また、評価結果と課題に対する学内外の意見を踏まえた改善に取り組み、その結果を公表する。
- 1-2 大学教員の個人評価について、評価項目等の検討をすすめ、見直しを進める。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置

- 2-2 ウェブページの検証結果に基づき、ウェブページの充実を図る。

V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置

- 1-1 魅力あるキャンパス環境整備を行う。
- 1-3 キャンパス機能に応じた環境整備を行う。
- 1-4 ユニバーサルデザイン等の視点から、施設環境整備を行う。
- 1-5 機能保全・維持管理計画に基づき、整備を行う。

2 安全管理に関する目標を達成するための措置

- 1-1 附属学校園及び大学キャンパスの安全に万全を期すとともに、安全なキャンパス環境を維持するための取組を行う。
- 1-2 学校安全に関する定期的な点検や見直しを継続的に実施する。
- 1-3 幼児・児童・生徒を対象に防災訓練等を実施する。
- 1-4 非常時の対応のために、学生・教職員を対象に救命講習、防災訓練等を実施する。

3 法令遵守に関する目標を達成するための措置

- 1-1 経営協議会において一層の実質的審議が行われるよう運営面に配慮する。
- 1-3 法令遵守意識のさらなる向上を図るため、職責に応じた研修を実施する。

VI 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
別紙参照

VII 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

16億

2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れすることが想定されるため。

VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画はないものとする。

IX 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

X その他

1 施設・設備に関する計画

（単位：百万円）

施設・設備の内容	予定額	財源
・（緑丘（附中高））校舎改修	総額 635	施設整備費補助金（189）
・（南河堀（附中高））他屋内運動場等耐震改修		国立大学財務・経営センター 施設費交付金（33）
・（旭ヶ丘）便所改修		運営費交付金（413）
・（南河堀）東館改修		
・（旭ヶ丘）外壁改修		
・（旭ヶ丘）空調機改修		
・（南河堀）南校舎空調機改修		
・（流町（附中高））音楽室改修		
・（流町（附属幼））給水管他改修		
・小規模改修		

注）施設・設備の内容、金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や老朽度合等を勘案した施設・設備の改修等が追加されることもあり得る。

2. 人事に関する計画

効率的な大学運営に資する観点から職員配置の年次計画を策定し、平成27年度における業務等を精査し、学内組織の職員数の適正化を推進する。

(参考1) 平成27年度の常勤職員数 673人

(参考2) 平成27年度の人件費総額見込み 6,469百万円(退職手当は除く)

(別紙)

○予算(人件費の見積りを含む。), 収支計画及び資金計画

(別表)

○学部の学科, 研究科の専攻等の名称と学生収容定員, 附属学校の収容定員・学級数

(別紙) 予算 (人件費の見積りを含む。), 収支計画及び資金計画

1. 予算

平成27年度 予算

(単位: 百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	6, 332
施設整備費補助金	190
補助金等収入	0
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33
自己収入	2, 849
授業料, 入学金及び検定料収入	2, 719
雑収入	130
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	333
前中期目標期間繰越積立金取崩額	0
目的積立金取崩	151
計	9, 888
支出	
業務費	9, 332
教育研究経費	9, 332
施設整備費	223
補助金等	0
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	333
計	9, 888

[人件費の見積り]

期間中総額6, 469百万円を支出する(退職手当は除く)。

「運営費交付金」のうち, 平成27年度当初予算額6, 067百万円, 前年度よりの繰越額のうち, 使用見込額265百万円

「施設整備費補助金」のうち, 平成27年度当初予算額190百万円, 前年度よりの繰越額0百万円

「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち, 前年度よりの繰越額からの使用見込額128百万円

2. 収支計画

平成27年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	9,400
經常費用	9,400
業務費	8,821
教育研究経費	1,704
受託研究経費等	53
役員人件費	188
教員人件費	5,497
職員人件費	1,379
一般管理費	262
財務費用	2
減価償却費	315
臨時損失	0
収益の部	9,249
經常収益	9,249
運営費交付金収益	6,088
授業料収益	1,942
入学金収益	348
検定料収益	92
受託研究等収益	53
補助金等収益	0
寄附金収益	275
財務収益	1
雑益	135
資産見返運営費交付金等戻入	177
資産見返補助金等戻入	68
資産見返寄附金戻入	32
資産見返物品受贈額戻入	38
臨時利益	0
純利益	-151
目的積立金取崩益	151
総利益	0

3. 資金計画

平成27年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	10,133
業務活動による支出	9,085
投資活動による支出	802
財務活動による支出	0
翌年度への繰越金	246
資金収入	10,133
業務活動による収入	9,122
運営費交付金による収入	6,067
授業料・入学金及び検定料による収入	2,719
受託研究等収入	53
補助金等収入	0
寄附金収入	155
その他の収入	128
投資活動による収入	224
施設費による収入	223
その他の収入	1
財務活動による収入	0
前年度よりの繰越金	787

別表（学部の学科，研究科の専攻等の名称と学生収容定員，附属学校の収容定員・学級数）

教育学部（第一部）	幼稚園教員養成課程	60人（うち教員養成に係る分野 60人）
	学校教育教員養成課程	1,580人（うち教員養成に係る分野1,580人）
	特別支援教育教員養成課程	180人（うち教員養成に係る分野 180人）
	養護教諭養成課程	120人（うち教員養成に係る分野 120人）
	教養学科	1,620人
教育学部（第二部）	小学校教員養成課程	350人（うち教員養成に係る分野 350人）
教育学研究科	学校教育専攻	31人（うち修士課程 31人）
	国語教育専攻	14人（うち修士課程 14人）
	社会科教育専攻	31人（うち修士課程 31人）
	数学教育専攻	15人（うち修士課程 15人）
	理科教育専攻	32人（うち修士課程 32人）
	英語教育専攻	12人（うち修士課程 12人）
	家政教育専攻	11人（うち修士課程 11人）
	音楽教育専攻	23人（うち修士課程 23人）
	美術教育専攻	22人（うち修士課程 22人）
	保健体育専攻	20人（うち修士課程 20人）
	特別支援教育専攻	22人（うち修士課程 22人）
	技術教育専攻	6人（うち修士課程 6人）
	養護教育専攻	6人（うち修士課程 6人）
	実践学校教育専攻	45人（うち修士課程 45人）
	健康科学専攻	42人（うち修士課程 42人）
	総合基礎科学専攻	32人（うち修士課程 32人）
	国際文化専攻	24人（うち修士課程 24人）
	芸術文化専攻	24人（うち修士課程 24人）
連合教職実践研究科	高度教職開発専攻	30人（うち専門職学位課程 30人）
特別支援教育特別専攻科	30人	
附属幼稚園	150人	学級数 6
附属天王寺小学校	660人	学級数 18
附属池田小学校	660人	学級数 18
附属平野小学校	660人	学級数 18
附属天王寺中学校	480人	学級数 12
附属池田中学校	480人	学級数 12
附属平野中学校	360人	学級数 9
附属高等学校天王寺校舎	480人	学級数 12
附属高等学校池田校舎	480人	学級数 12
附属高等学校平野校舎	360人	学級数 9
附属特別支援学校	60人	学級数 9（小学部，中学部，高等部各3学級）